

まちをつなぎ 新たな賑わいの流れを生み出す シビック スクエア

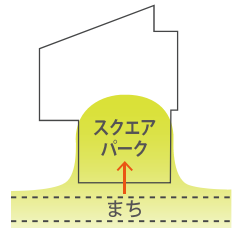
雄大な山々の間を流れる四万十川は 幾筋もの支流を集め
 幡多地域の中心であるこの地域をゆったりと南下し 太平洋に流れ込みます
 市民のそれぞれの活動の流れが まちをつなぐ流れをうみだし
 賑わいや交流がまちにひろがる 文化複合施設をつくります



まちのシンボルとなる まちに開きひとを迎え入れる まちのランドマーク

01. まちに開きひとを迎え入れる軒庇

施設の前面に市民の広場『スクエアパーク』をつくり、まちから人を引き込みます。
 広場に向かって施設を開き、緩やかに延ばした軒庇『ウェルカムキャノピー』で人々を迎え入れます。



広場にまちを引込む

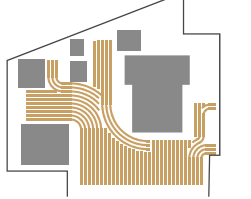
02. 賑わいの流れを導く天井ルーバー

緩やかな曲面の軒庇から内部につながる天井は、施設の奥まで人々を導き、賑わいの流れを生み出します。



迎え入れる軒の意匠 (一條神社の軒先)

まちからつながる賑わいの流れを、四万十川の流れをイメージした『しまんとルーバー』の天井で表現します。



四万十川の流れを表現する天井『しまんとルーバー』

03. 四万十市の木でシンボルをつくる

人々を迎え施設に引き込む『ウェルカムキャノピー』と、賑わいの流れを表現する『しまんとルーバー』は、四万十市産材でつくり、市民の誇りとなる まちのランドマークとします。

まちに流れを生み出す配置の考え方

多様な居場所をつなげ 賑わいの流れをつくる

04. まちをつなぎ賑わいの流れをうむ

『スクエアパーク』『交流ロビー』『憩いのプラザ』から五月公園までをつなぎ、まちに広がる賑わいの流れを生み出します。

『スクエアパーク』は しまんと市民祭 などでは、たくさんの方が集まるイベント広場として賑わいます。

『憩いのプラザ』は、市民の日常の活動・憩いの広場です。五月公園とつながるように整備し、誰もが気軽に立ち寄れるポケットパークとすることを提案します。



まちにつながる賑わいの流れ

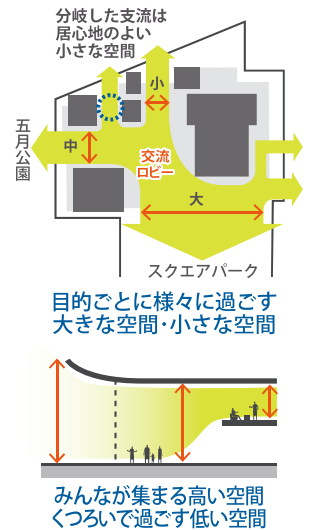
05. 日常もさまざまに賑わう交流ロビー

イベントのない時も誰もが気軽に訪れ、日常的に賑わい・出会う『交流ロビー』をつくります。

市民や観光客の多様な活動・交流には、大小さまざまなスケールの空間が必要です。

大きな空間は、大勢が集まれる交流の場所です。小さな空間は、少人数での活動や日常の居場所になります。

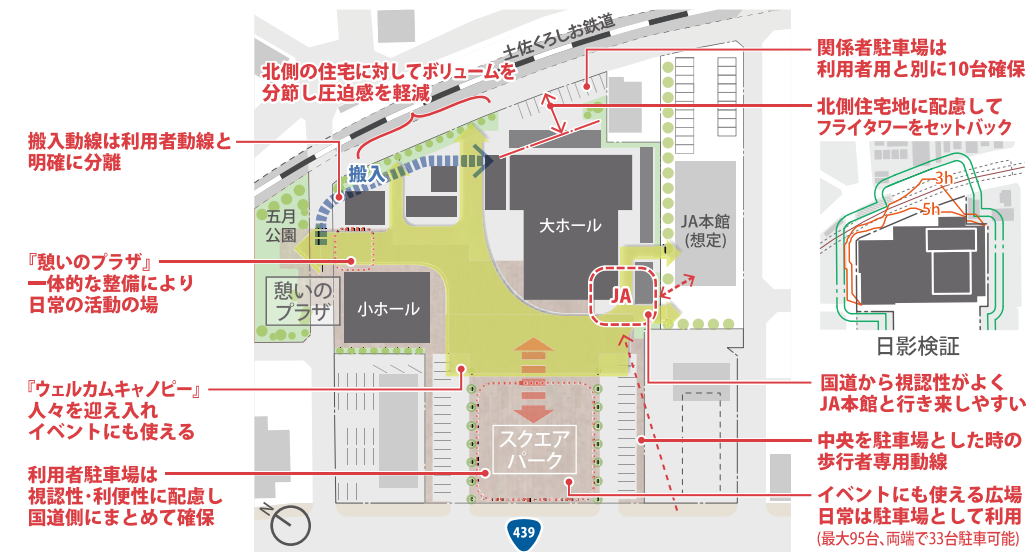
天井の高い気持ちのよい空間や、天井の低いくつろげる空間で、それぞれの目的に応じて思い思いに過ごせます。



立地条件を活かし賑わいをうみだす配置計画

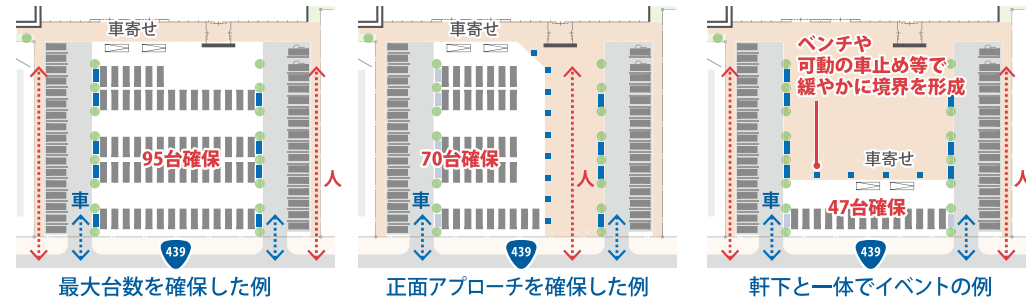
賑わいと利便性を両立するスクエアパーク

06. 利便性・安全性に配慮した機能的な配置計画



【スクエアパークのさまざまな利用パターン例】

利用者駐車場は視認性・利便性に配慮して国道側にまとめて確保し、歩行者動線や搬入動線と明確に区分します。中央部分は舗装を施し、左右のアスファルト部分と明確に分けることにより、イベント利用や駐車場ニーズに合わせて柔軟に運用が可能な計画とします。全面を使ったイベントなど下図以外にもさまざまなパターンの利用が可能です。



07. 周辺地域に配慮した計画

北側同居への日影・圧迫感に配慮し、フライタワーをできるだけ中央にセットバックさせます。

北東側の分節されたヴォリュームによって住宅地への圧迫感を軽減させます。

活動室の間から上げた先は、東山・後川を望む市民が憩えるデッキとします。



スクエアパークではたくさんの方が集い、賑わい・育みあう様々なシーンが生まれます。

人々を迎え入れる『ウェルカムキャノピー』





敷地北西の五月公園を最大限に活かして公園側に大きく開きます。市民の日常的な憩いの広場になると同時に屋内で展開される様々なアクティビティのしみだしを受け入れる場所になります。まさにたくさんの賑わいあふれる活動が広がっていきます。

賑わいであふれる憩いのプラザ五月公園

機能的で使いやすい施設計画

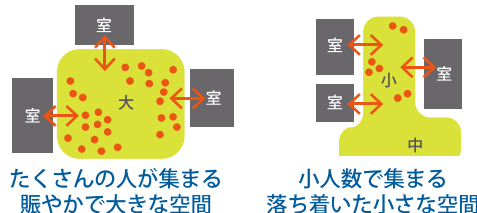
訪れた市民が思い思いの場所を見つけ 多様な文化活動の受け皿となる施設

08.交流ロビーに集う様々な賑わいの流れが 施設に活気を生み出します

みんなで集まる『大きな空間』と小人数で集まることが出来る『小さな空間』を計画します。

大きな空間は全天候型の広場のように、イベントや発表会など、様々な人であふれる賑わいの空間となります。小さな空間はリビングルームのように目的がなくても気軽に立ち寄ることができる市民のサードプレイスとなります。

見る見られるの関係によってさらなる賑わいの相乗効果が生まれます。



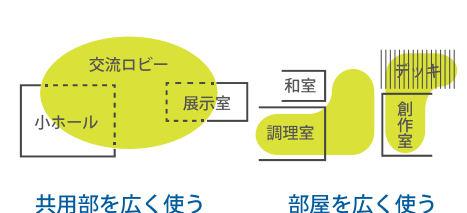
たくさんの人が集まる賑やかで大きな空間
小人数で集まる落ち着いた小さな空間
共用部を広く使う 部屋を広く使う

09.余すことなく使う

ホール利用時以外は、ホワイエを共用部の延長として開放し、市民の日常の交流の場・居場所をさらに確保します。

大・中楽屋はホール利用がない時には貸し会議室として市民が利用できるようにし、施設全体の稼働率を高めます。

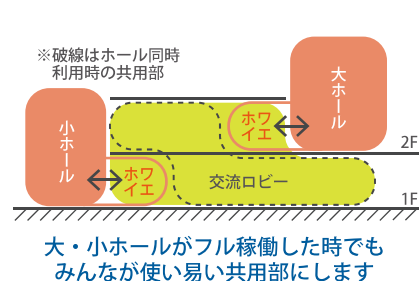
利用者ニーズを把握し、共用部をうまく取り込むことで施設全体を余すことなく利用する計画とします。



10.分かりやすい施設計画

吹抜け空間によって各室が見渡せ、行きたい場所が直感的にわかるような空間となります。

大ホールのもぎりを2Fに配置することで、大ホール利用時や、小ホールとの同時利用でも市民の日常の活動動線はしっかりと確保する使い易い施設とします。

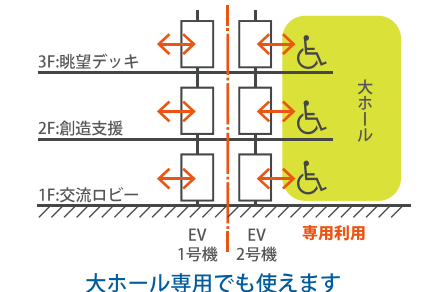


大・小ホールがフル稼働した時でもみんなが使い易い共用部にします

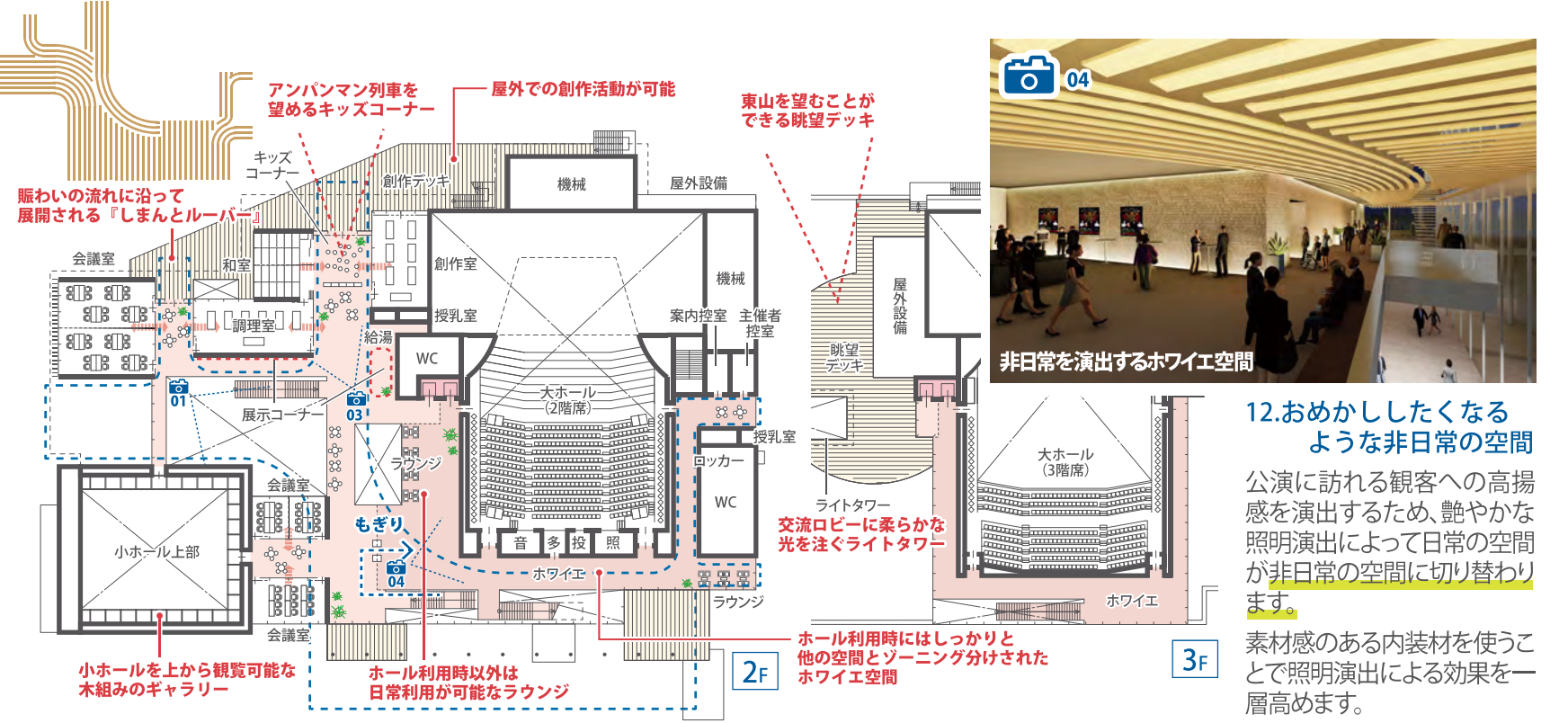
11.すべての人に優しい建物

全体を見渡せる位置に受付を設け、お困りの方にすぐにお声がけができる計画とします。

利用者ニーズを最優先に考えて、エレベーターは2台設け、大ホール利用時には専用利用が可能な計画とします。



大ホール専用でも使えます



賑わいで溢れる交流ロビーの様々な活用シーン



01 ライトタワーから柔らかな光が注ぐ
交流ロビー
たくさんの人で賑わうしまんと市民祭のお祭り会場【大きな空間】
日頃創作活動に興じる市民の方々の自慢の作品を展示したり、市内の物産を展示・販売。スクエアパークとの一体利用により地元の人や観光客が多数集まる。



02 賑わいの流れに沿って展開される『しまんとルーバー』
交流ロビー
市民や観光客との日常的な交流【中くらいの空間】
今日は日曜日。小ホールで開催されているピアノ教室の発表会の音色を心地よく聞きながら観光で訪れた海外の観光客においしいごはん屋さんを教えるおじいちゃん。



03 気軽に立ち寄れるまちのリビング【小さな空間】
幼稚園・保育園のお迎えの帰りにいつものように遊びに来る親子。アンパンマン列車が走る度に子供たちの歓声が響き渡る。お料理教室のクッキーを子供たちにおすそ分け。

12.おめかししたくなるような非日常の空間

公演に訪れる観客への高揚感を演出するため、艶やかな照明演出によって日常の空間が非日常の空間に切り替わります。

素材感のある内装材を使うことで照明演出による効果を一層高めます。

それぞれの役割に適した機能をもつホール計画

市民からプロまで活用できる高性能な大ホール 市民の様々な活動を誘発する開かれた小ホール

大ホールはさまざまな利用を想定した正統派の高性能ホールとして、小ホールは市民から愛着を持たれ日常利用される開かれたホールとして、それぞれの役割に適した空間性と機能を確保します。また、交流ロビーは日常的な市民の憩いからイベントまで、機能共有とタイムシェアリングができる第三のホールとして位置づけ、さまざまな利用に備えます。

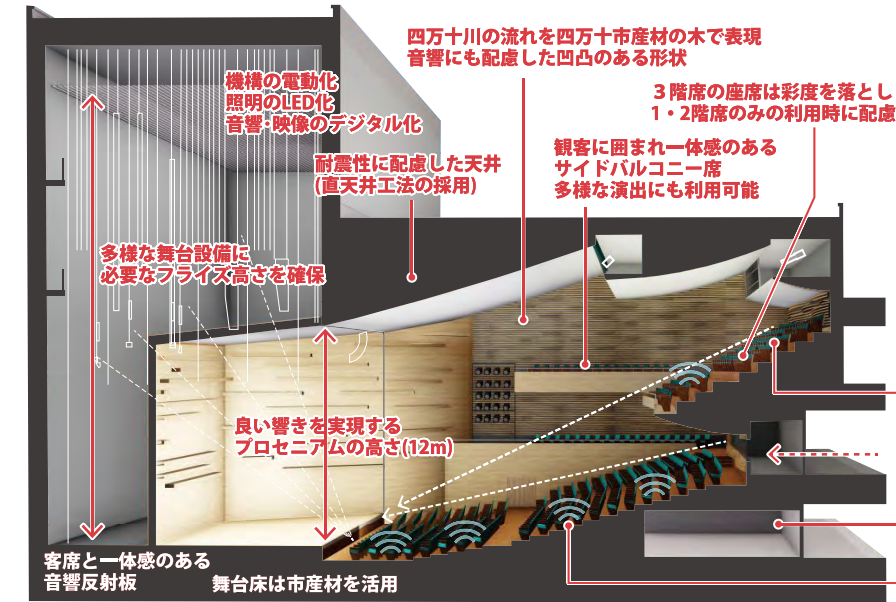
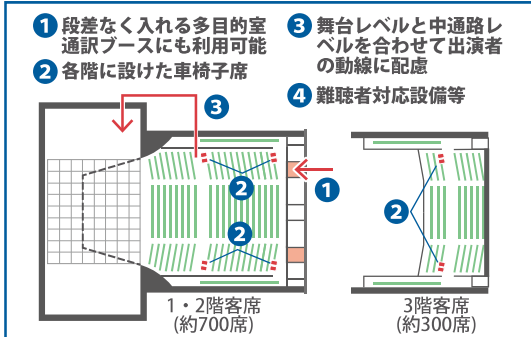
13.優れた芸術文化の鑑賞と多彩な演目に対応する大ホール

市民からプロまで全ての利用者が活用できる高性能で使いやすいホールとして、本格的な公演に必要な舞台設備や音響性能を備え、ハレの場に相応しい空間として演出します。

- ・演劇や演奏会に適した、プロセニウム型の正統派多目的ホール
- ・内装の素材や形状を検討し、良い響きと明瞭度のある音響性能を実現
- ・袖の広さ・フライズ高さに余裕をもった、誰もが安全で使いやすい舞台
- ・舞台と中通路、ホワイエと多目的室のレベルを合わせるなどユニバーサルデザインを徹底
- ・多様な演目に対応するLED、デジタル化などの先端技術を採用した舞台設備
- ・将来の更新性や最新技術の持込みに対応する電源等のインフラの充実



各階に車椅子席を設けたユニバーサルホール



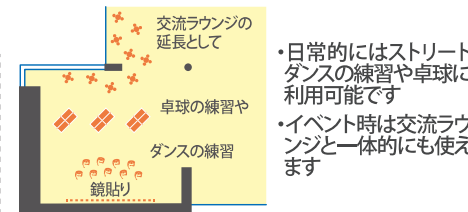
14.市民が愛着を感じる魅力的な空間と多様な演出が可能な小ホール

市民の日常利用から、小公演やイベントまで、さまざまに使い多様な演出が可能な拡張性を備えます。四万十市産材による特徴的で魅力ある市民のためのホールとします。

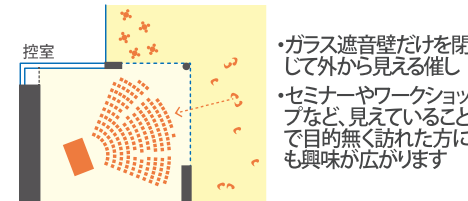
- ・ロビーに開き、イベントや展示会など、日常の様々な活動ができるホール
- ・ガラスと壁の二重の可動遮音壁で、遮音しながら視覚的に開くことも可能
- ・ギャラリーやキャットウォークを四万十市産材で組み四万十市らしさを表現
- ・木組に納めたパイプでどこでも仕込み・演出が可能なギャラリー・キャットウォーク
- ・大ホールと映像・音響を連結し、大人数時には第二会場として利用



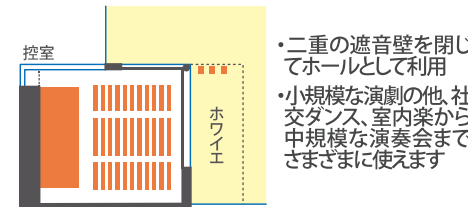
オープンスタイル



セミオープンスタイル



クローズスタイル



合理的な計画による省エネ・環境負荷低減、施設整備費・管理運営費の削減

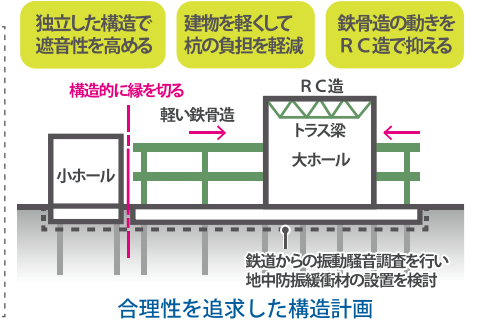
適材適所の構造・設備計画と自然エネルギー活用によるライフサイクルコストの低減

15.必要な機能を確保しながらイニシャルコストを縮減

工事費に占める割合が高い構造躯体を合理的に計画し、コストの縮減を図ります。大空間の架構や遮音性、耐震性など必要な性能を確保しながら無駄のない計画とします。

性能を満足しながらイニシャルコスト縮減を実現する10の方策

- ・建設費の大半が決まる設計初期段階でのコストチェックの徹底
- ・施設のコンパクト化による建設費縮減
- ・大小ホールは遮音に有利な鉄筋コンクリート造(RC造)とし耐震性も確保
- ・ホール以外は鉄骨造で軽量化を図り、杭負担を減らすことでコストを縮減
- ・鉄骨造への地震力は堅いRC造部分に負担させ、さらに鉄骨を軽量化
- ・小ホールは構造的に独立させることで、コストをかけずに遮音性能を向上
- ・ホールの屋根は、天井の耐震性を確保しながら軽量化する鉄骨トラス梁
- ・鉄道からの振動対策は、現地測定を行い費用対効果の高い工法を採用
- ・地質調査の結果により、液状化対策の要否を検討
- ・工業製品の採用、モジュール化により現場作業を削減し工期とコストを縮減

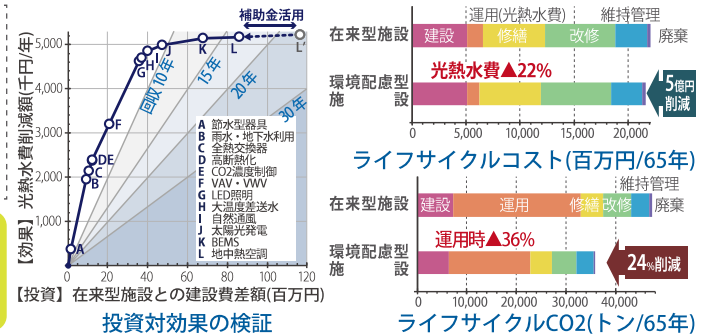


16.気候風土や用途に適した環境技術によるランニングコストの低減

四万十市の風土・気候に適した自然エネルギーの活用により省エネ化を図り、ランニングコストを低減します。実績データにもとづく環境配慮技術の組合せで、快適性を保ちながら投資対効果を高め、確実にコストを回収します。

- ・四万十市の豊富な降雨量・日照時間、北西・南東の卓越風、地下水を活かす
- ・自然エネルギー活用により災害・停電時にも支援物資拠点として機能を維持
- ・利用形態・時間に応じたゾーニングや最新の設備システムにより光熱水費を削減
- ・高耐久材の選定、更新性・メンテナンス性の確保など管理費削減と長寿化
- ・特殊加工を必要としない木材利用計画により地域産材・地場産業の有効活用

投資対効果の検討に基づく環境技術の組合せで在来型施設と比較して
光熱水費を22%、運用時CO2排出量を36%低減します



四万十市の気候風土を活かした人と環境にやさしい環境共生型の文化複合施設

四万十市の自然エネルギーを活用

- ・自然採光により快晴時は照明なしで必要照度を確保
- ・スクエアパークは地下水を利用した打水によって舗装面の温度上昇緩和
- ・風が通る抜けをつくり、打水で冷されたスクエアパークからの自然通風により中間期の空調負荷低減
- ・杭を利用した地中熱による共用部の省エネ空調(夏季・冬季)
- ・豊富な雨水を植栽への散水・便所の洗浄水に利用
- ・豊富な日照時間を活用した太陽光発電による電力利用
- ・屋上緑化による断熱性の向上とヒートアイランド対策

災害時への配慮

- ・自然採光・通風を取入れ停電時に配慮
- ・憩いのブラザにはマンホールトイレを設置し災害時のトイレ機能を確保
- ・スクエアパークや深い軒庇を活用した支援物資の集積・仕分・配送
- ・創造支援室はボランティアの活動拠点として利用可能
- ・水害に配慮し、受変電設備等を上階に設置

環境負荷低減技術の採用

- ・交流ロビーや大ホールなどの大空間では居住域空調を採用し快適な温熱環境を実現
- ・事務室で照明・空調を一括管理し利用・営業時間終了時の自動強制停止
- ・全熱交換器による熱のロスの低減
- ・個別空調+床温度/人感センサー+スケジュールタイマーによる省エネ
- ・利用者が自由に温度設定可能とし満足度向上(会議室・練習室等)
- ・高効率なLED照明の採用、ランプ長寿命化による交換手間低減(特に高所)
- ・昼光センサーによる自動調光で電力負荷低減
- ・スケジュールタイマーによって使用終了時刻に照明強制OFF
- ・外壁の高断熱化や高断熱ガラスの採用によって熱の侵入(夏季)・損失(冬季)を抑制
- ・節水型便器の採用

長寿命化への配慮

- ・耐久性・防汚性のある材料選定
 - ・設備機器の更新性に配慮したゆとりあるスペース
 - ・汎用品の採用による維持管理容易化
 - ・深い軒庇より年間約2,700mmの四万十の雨から外壁・ガラスの保護、日射遮へいによる冷房エネルギー低減
- 管理運営に配慮
- ・施設中央に事務室を配置し、入口・施設全体を見渡すことが可能
 - ・管理諸室を集約配置し、日常管理の負担を軽減
 - ・四万十市の気候風土に合致した自生する樹木選定など、管理・維持が容易な植栽計画
 - ・乾式間仕切りによって将来の用途変更、間仕切り変更を容易化
 - ・ガラス面は清掃性に配慮してメンデッキ等の設置
- ユニバーサルデザイン
- ・内外ともに誰もが使い易い段差のない計画
 - ・老若男女、インバウンドの観光客にも配慮したわかりやすいピクトサイン
 - ・音声・フラッシュ光による誘導やデジタルサイネージなどによるあらゆる方々への災害時の万全な対応
 - ・オストメイト利用者、LGBTIにも配慮した多目的便所
 - ・ICT化や多言語案内の活用

